様式第３号（第１２条関係）

会　　議　　録

会議の名称	令和７年度第１回吉川市環境審議会
開催日時	令和７年１１月１４日（金）１０時００分から１０時５０分まで
開催場所	吉川市役所　３０４・３０５会議室
出席委員氏名	松﨑誠委員、浜本光紹委員、桑本潔委員、福田真道委員、 岡田友之委員
欠席委員氏名	附田健志委員、池上雅子委員、牛尾幸子委員
担当課職員職氏名	環境課長　安室晴紀、環境課環境保全係長　山崎弘輝、 環境課環境保全係主事　寺田佑、森慎太郎
会議次第及び会議の公開又は非公開の別	１　開会 ２　議題 （１）吉川市の環境について　　資料 （２）環境に関する計画について　　資料 （３）その他 ３　閉会 すべて公開
非公開の理由	なし
傍聴者の数	０名
会議資料の名称	次第 資料　吉川市の環境 資料　吉川市環境行動計画（第１期）進捗管理シート 資料　吉川市環境行動計画（第１期）の進捗状況の概要（令和６年度） 資料　環境行動計画の改定（案）概要【追加資料】
会議録の作成方法	□録音テープを使用した全文記録 ■録音テープを使用した要点記録 □要点記録
会議録確認指定者	桑本委員、福田委員
その他の必要事項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
１　開　会 事務局	――――――――――――――――――――《開　　会》―――――――――――――――――――― ただ今より、令和７年度第１回吉川市環境審議会を開会する。 ――――――――――――――――《定足数確認(会議の成立)》―――――――――――――――― 吉川市環境保全条例第７７条の規定により、定足数である過半数に達しているため、本日の審議会が成立していることを確認した。 なお、附田委員、池上委員、牛尾委員については事前に欠席の連絡を受けていることを報告する。 ――――――――――――――――《会議の公開・非公開の決定》―――――――――――――――― 本日の会議は全て公開で行う。 ――――――――――――――――――《議事録署名人の指名》―――――――――――――――――― 会議録の署名委員に、桑本委員と福田委員の二人を指名。 ――――――――――――――――――――《議事審議》―――――――――――――――――――― **（１）吉川市の環境について**
浜本会長	議題について、事務局より説明いただく。 【事務局資料説明】
事務局	資料 吉川市の環境
松﨑委員	質疑 公害相談の中で、騒音、振動、悪臭に関する対応及び処理について何点か具体的に教えていただきたい。
事務局	騒音について、ほとんどが事業場から発生している音についての相談であり、対応として現場確認や事業者への聴取、発生している音や必要な届出ができるかの確認を行う。また、相談者からの要望や必要に応じて騒音測定を行い、基準を超過している場合指導を行い解決を図っている。 振動の場合、騒音と違って解体作業などで発生する振動の相談が含まれおり、工事時間の確認や周辺への配慮をお願いし改善を図っている。
桑本副会長	西大場川と上第二大場川について水量が少なくBODの値が上昇している状況だと思うが水深はどれくらいなのか教えていただきたい。
事務局	西大場川については0.22m、上第二大場川については0.29mである。

	参考に木売落しについては0.68m程度である。補足になるがその後の経過として令和７年の調査結果ではいずれの川についても数値は回復していることを確認している。
岡田委員	住宅用太陽光発電設備等設置補助実績について、合計が350万円となっているが申請者全員が交付を受けられたのか、それとも予算で打ち切りにしたのか教えていただきたい。
事務局	予算がある状況で書類等に不備がなければ受付をし交付を行っているため、申請者全員が交付を受けられたかという質問の答えとしては交付をしていることになる。一方、市税の滞納などの交付要件を満たしていない場合は不交付という形で申請者に通知をしている。令和６年度については１２月で予算上限に達した。
岡田委員	セアカゴケグモについて、毒は持っているが攻撃性のないおとなしいクモとあるが、広報などで市民に注意喚起等の周知はしているのか。
事務局	昨年度発見した際は、ホームページで周知を行った。しかしそれ以降1年近く発見はされなかったが、同じエリアで再び発見がされ駆除及び周辺確認を行い対応を終えたところであった。令和７年10月、昨年度とは違うエリアである中央緑地付近で発見され、学校も近くにあることから保護者向けにメールを送ることができるアプリを使い注意喚起を行ったところである。合わせて市のＳＮＳでも注意喚起をした。今後は他の虫害も含め広報への掲載を検討したい。
岡田委員	知らない人も多いと思うのでより多くの人がわかるよう特徴や危険性などについて周知をお願いしたい。
事務局	より多くの人に周知できるよう検討させていただきたいと思う。
福田委員	セアカゴケグモで補足説明させていただく。最近でも隣の市町で発見の報告を受けており、今年は報告件数が増加している状況。学校の敷地内で発見されたケースもあり市及び教育委員会と連携して注意喚起を行っているところもある。 また、アライグマについては、吉川市も増えているが越谷環境管理事務所管内でも増えており一昨年の倍のペースになっているので、市町村や獣医師会と連携し駆除していきたいと思う。
	（２）環境に関する計画について 続けて、吉川市環境行動計画と追加資料について、事務局より説明をいただく。 【事務局資料説明】 資料吉川市環境行動計画（第１期）進捗管理シート

	資料吉川市環境行動計画（第１期）進捗状況の概要（令和６年度） 資料環境行動計画の改定（案）概要
	質疑
岡田委員	温室効果ガスの排出量削減について、どれくらいの規模なのか教えていただきたい。
事務局	事業所などの温室効果ガスの削減については、日本に限らず世界中で取組していることはご存知だと思うが具体的にいくら削減したらいいのかについて一例を挙げたいと思う。国は自治体に対し２０１３年度比で約５割削減を目標と掲げている。数値で申し上げると２０１３年度は５，０１８t-CO_2、であり２０３０年度に２，７６１t-CO_2 まで減らすよう進めているところである。環境行動計画の中間目標として２０２６年に３，６９７t-CO_2 まで削減する目標を掲げており、また別の計画にはなってしまうが、２０２５年までに３，９３２t-CO_2 を目指す目標があり、参考として２０２４年の排出量は３，４４８t-CO_2 のため現状中間目標は達成できている状況である。
岡田委員	市が使用する公用車のうち次世代自動車の使用割合について、次世代自動車とは電気自動車のことか？
事務局	策定当時はハイブリッド自動車や電気自動車のことを次世代自動車と呼んでいた背景があるが、現在は電動車という呼び方になっている状況。電動車とは、ハイブリッド自動車、電気自動車、マイルドハイブリッド自動車などが含まれる。策定当時と現在で言い回しが変わっていると思われるので表記については変更を検討したいと思う。
桑本副会長	２点あり、１点目が太陽光パネルの利用について、使用後の再利用などについて検討してもらいたい。２点目が水質の PFOS や未規制物質の動向についても注視してもらいたい。
事務局	現在、設置の補助は行っているがその後の処理などについては特段取り決めを行っておらず、PFOS についても現在小河川の調査項目にしていないため、ともに調査研究していきたい。
福田委員	太陽光パネルの再利用については、環境科学国際センターを含め研究を進めているので今後共有をしていきたい。PFOS、PFAS については、埼玉県の方で河川と地下水について調査を進めホームページに掲載をしている。東部地区については今のところ異常はないが今後も常時監視という体制で調査を続けていきたい。
浜本会長	３点提案させていただきたい。１点目が現在５市一町でゼロカーボン宣言をされていると思うが発展の一例として多摩地域が気候変動に対

	して広域化事業を行っている。緑化政策や森林整備などは１市だけでは取組に限界があるが広域化することできることで対象のエリアが増えより多くの取組ができるとのこと。そういったメリットもあるので広域化事業について検討してみてもいいのではないか。 ２点目が２０３０年後半から太陽光パネルについて大量の廃棄が見込まれているので、他の方も意見を挙げていたが具体的な取組について検討してもらいたい。 ３点目がプラスチックについて、国際条約を作ろうとしている動きがあり、成立した場合国内の廃プラスチックの規制について一段階厳しくなると思われる。現在も国が先進的なプラスチックの回収を行っている自治体に対し補助を行っているため、今後厳しくなるであろう廃プラスチックの処理方法などについて検討してもらいたい。
事務局	気候変動については、吉川市はオブザーバーとして会議に参加をしており、昨年度は気候変動についてのイベントを開催したところである。広域化については多摩地域の政策などを参考に検討したい。プラスチックの分別収集については現在５市一町で話し合っているところである。
	――――――――――――――――――――《議事審議》――――――――――――――――――――
	（３）その他
事務局	委員任期については、来年の１０月末日までとなっているが、特段の事案が生じない限り本日の会議をもって終了の予定となっている。
	――――――――――――――――――――《閉　　会》――――――――――――――――――――
３　閉　会	以上で本日の審議会の内容はすべて終了した。これをもって、令和７年度第１回吉川市環境審議会を閉会する。
	以　上

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和８年１月９日

署名委員　桑本　潔（自署）　　署名委員　福田　真道（自署）